



いずみさの

No.166
2019.8.1

市議会だより



New Topics

第3回 みらい泉佐野こども議会の
見学者を募集します

目次

- ◆6月定例会の結果報告 …… 2~4
- ◆施政方針に対する質問 …… 5~9
- ◆議会豆知識 …………… 9
- ◆ご案内 …………… 10

本会議・委員会をインターネットで配信しています。

泉佐野市議会

検索



6月定例会議を開催

議案
第23号

工事請負契約締結について

可決
全会一致

JR熊取駅西側エリアにおいて、まちづくりの基礎となる都市計画道路を整備するものです。道路延長約560m、道路幅員14m、橋梁2カ所の工事です。

委員からは山出交差点の渋滞緩和を求める意見や、商業としての土地利用を求める意見もあり、どちらも調整しているという答弁がありました。

今後、熊取駅西側が大きく変化、発展することになります。



議案
第31号

泉佐野市奨学金貸付基金条例の一部を改正する条例制定について

可決
賛成多数

昨年度試行した「高校入学準備金給付制度」について、貸付制度に加え、奨学金の給付制度として本格実施するために改正を行うものです。

1.給付対象 将来の夢を見据えながら真摯に学業や課外活動に取り組んでいる高等学校等に進学しようとする泉佐野市立中学校3年生の保護者のうち、給付申請を行い、その審査の結果、給付選定がなされたもの。

2.給付額 対象生徒1人につき 10万円

3.申請期間 令和元年9月2日(月)～30日(月)



今補正予算の主な内容ですが、「教育環境の充実」として日新小学校・北中小学校・大木小学校・上之郷小学校・第三中学校・長南中学校の体育館に空調設備を設置する予算や上之郷小学校プール整備事業に対する設計及び地質調査業務委託費と文化財試掘工事費などが計上されました。

「防災対策」では、自衛隊との連携強化及び市民の防災意識向上のため、自衛隊と合同で行う避難訓練のための予算や、消防施設設備事業に南中分団車庫の建て替えのための設計業務委託費などが計上されました。

「健康・福祉」では、インフルエンザ予防接種の助成・肺炎球菌感染症に係る定期接種、風しんに係る抗体検査とワクチン予防接種に対する予算が計上されました。

「子育て支援」では、民間保育所対策事業として10月からの幼児教育・保育の無償化に併せ、国の無償化対象外となっている給食費を市独自に無償化するための予算が計上されました。

「市民と協働」では、町会振興事業として町会・自治会の方が安心して日常の活動に参加出来るよう、事故が発生した場合に補償する制度を導入する予算も計上されました。

議決結果一覧表

全会一致で可決された案件

議案番号	案 件
議案第24号	工事請負契約締結について 第三小学校にプールと校舎棟へのエレベーターを設置するものです。
議案第25号	工事請負契約締結について 北中小学校にプールと校舎棟へのエレベーターを設置するものです。
議案第26号	工事請負契約締結について 長坂小学校にプールを設置するものです。
議案第27号	工事請負契約締結について 鶴原団地住宅(1~5棟)建替第二期解体工事として、3棟及び5棟の解体撤去を行うものです。
議案第30号	泉佐野市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について 貸付金の利率変更および保証人要件の変更等について改正を行うものです。
議案第32号	泉佐野市文化財保護審議会条例制定について 泉佐野市文化財保護審議会の設置に伴い、条例制定を行うものです。
選挙第4号	選挙管理委員及び補充員の選挙について 選挙管理委員に佐藤 憲成さん、矢野 哲夫さん、古谷 伊久雄さん、豊田 裕義さん、補充員に北野 宜子さん、田村 博さん、向井 清人さん、脇田 拓也さんがそれぞれ当選しました。

議案番号	案 件
議案第35号	人権擁護委員候補者推薦についての意見を求めることについて 人権擁護委員候補者に芝野 公子さんを推薦することに同意しました。
議案第36号	工事請負契約締結について
議案第37号	旧慣による公有財産の使用権の廃止について
議案第38号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償についての条例の一部を改正する条例制定について
議員発議第6号	児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書の提出について
議員発議第7号	信頼される政府統計をめざしてさらなる統計改革を求める意見書の提出について

議案第23号は2ページをご覧ください。

表決が分かれた案件

議案番号	案 件	結果
議案第28号	消費税及び地方消費税の税率の改正に伴う関係条例の整備に関する条例制定について 令和元年10月1日から消費税率が10%に引き上げられる予定であることから、課税対象となる公の施設の使用料において消費税を適正に転嫁した使用料に改定するものです。	可決
議案第29号	泉佐野市公園条例の一部を改正する条例制定について 泉佐野南部公園を指定管理者による管理へ移行するため所要の改定を行うものです。	可決
議案第34号	令和元年度泉佐野市りんくう公園事業特別会計補正予算(第1号)	可決

議案第31号は2ページ、議案第33号は3ページをご覧ください。

議案の賛否 表決が分かれた案件の賛否一覧です

	公明党				チーム泉佐野創生			自由民主党			日本共産党		大阪維新の会		正道の会・泉新の会		新緑未来	
	大庭 聖一	土原 こずえ	岡田 昌司	辻中 隆議長	野口 新一	向江 英雄	大和屋 貴彦副議長	西野 辰也	長辻 幸治	高橋 圭子	福岡 光秋	高道 一郎	日根野谷 和人	新田 輝彦	辻野 隆成	中村 哲夫	中藤 大助	布田 拓也
議案第28号	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第29号	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第31号	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第33号	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第34号	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○

議長は賛否同数のときのみ表決し、議案の可否を決定します。 ○：賛成、×：反対

大阪維新の会
泉佐野市会議員団 代表
日根野谷 和人 議員



・賑わいを創り出すまちづくりの観光推進
・心を豊かに育む「子ども子育て」環境
・環境にやさしいまちづくりの推進
・快適に住みやすいまちづくりの推進

まちづくりの観光について

Q アイスアリーナやホテル等が建設中のりんくう公園内に計画されている仮称「りんくう文化堂」の具体的な構想は？

A 敷地はりんくう公園内の約600㎡に費用に応じた施設整備を予定しています。外観は視覚的にシンボリックなイメージを想定し、客席数は、200席程度のスペースを確保、ソフト事業は、その土地の歴史や文化などを体験するガストロノミーツーリズムなどにつなげ、連携都市への送客機能を持つ観光ハブとして取り組んでいければと考えています。

Q 市が昨年取得した「さの町場」にある登録有形文化財「大將軍湯」を今後どの様に活用しますか？

A 浴場としての機能を生かした上で、旧新川家住宅等をはじめ、さの町場と一体的な活用計画を検討してまいります。



子ども・子育てについて

Q こども食堂に取り組み団体のネットワーク化とは？

A 子ども食堂を継続して運営しているだけでも、昨年10月に子ども食堂の活動推進を目的とした泉佐野市子ども食堂ネットワークを立ち上げたところです。

市と運営者あるいは運営者間の情報、意見交換、共通の課題解決を図りたいと考えています。活動の具体例として、研修会の開催や消耗品等の共同購入が挙げられます。

Q 市が行う事業と同様の趣旨ならば補助金を検討頂けないですか？

A どういった支援ができるのか、今後とも研究、検討いたします。

Q 十月に始まる幼児教育無償化で本市独自で上乗せ助成する給食費の無償化とはどのような内容ですか？

A 市内在住でかつ市内の認定こども園、保育所及び幼稚園に通園している3歳から5歳までの子どもに対して、1人当たり一律月額3,500円を給食費として補助するものです。

公明党
泉佐野市会議員団 代表
土原 じづえ 議員



・観光について
・国際化について
・子ども子育てについて
・学校教育について
・食品ロスについて

日本遺産について

Q 認定について過去三回質問しました。5月20日に文化庁から認定されました。今後の取り組みについて予定を教えてください。

A 今後は地域振興や観光振興のための基盤として、ソフト・ハード両面において、その整備事業に積極的に取り組みたいと考えています。これらの事業の実施に当たっては、まちづくり関係者、農林関係者、民間事業者で構成された日本遺産日根荘推進協議会を設立し、人材育成や普及啓発、現地での公開活用整備について、日本遺産魅力発信推進事業及び観光拠点整備事業に係る国の補助を活用しながら、3カ年計画で実施していく予定です。

関空アイスアリーナについて

Q 本年12月オープン予定の関空アイスアリーナがオープンしたら市内小中学生に無料開放の予定はありますか？

A 関空アイスアリーナは12月25日にオープンする予定です。オー

児童虐待対策について

プニングイベント等に関しては調整中で、具体的な内容は現時点では決まっておりますが、その後の12月27日から年末の31日までの12時から18時の間、市民の方々限定で無料開放することを考えております。

市民のスポーツ振興を図る施策としての市内小・中学生の無料利用については、来年度からの実施に向け、今後関係者と調整してまいります。

Q 本市の中で重篤な児童虐待の事例はありますか。また児童相談所との連携はどうなっていますか？

A 一時保護に至る事案もありませんが、報道等にあるような重篤な不安や虐待の兆しをキャッチした早い段階で、子育て支援、子どもの見守りを行っている状況です。

また、子ども家庭センターとの連携は、共同で虐待対応を行う際には、共通のツールを用いてリスクアセス



- ・産業のこころ
- ・地域共助・地域コミュニティのこころ
- ・健康・医療のこころ
- ・防災のこころ
- ・環境衛生のこころ

メントを行った上で、支援方針を決定し、お互いの役割分担のもと家庭を支援しています。一時保護が解除になり家庭に子どもを戻すときには、両者出席のもと個別のケース会議を開催し、虐待が再発しないよう対策を講じています。

学校教育について (通学路の安全対策について)

Q 通学路上の路面標示等が劣化等により薄くなったたり殆ど消えている状況がありますが路面標示の更新についてどうなっていますか。

A 教育委員会をはじめ、学校関係者等からの報告を受けた上で、各路面標示設置者と連携して、当該場所付近の明るさの状況やドライバーからの視認性の可否の加減等を確認しながら、劣化の状況に応じて、順次更新を進めてまいります。



地域コミュニティについて

Q 災害が起きた時に障がい者や高齢者の一時避難所になると予想される、町会・自治会館でバリアフリーが必要な会館等へ市から補助する考えはありますか。

A 安全性や機能性を高めるバリアフリーの改修については、大規模なものから小規模なものまでさまざまあると思います。現在の制度では比較的軽微な改修等については町会・自治会の負担により行っていたりもなっております。



ただ、災害が発生したときの避難所の役割を担うことになることを考慮すれば、現状の支援策の範囲や負担の考え方などについて、今後、町会連合会とも十分意見を交わしながら、また、その意見をお伺いしながら、より柔軟な制度運営を検討してまいります。

今年6月から、泉佐野市はふるさと納税制度から「除外」された。行き過ぎた返礼品競争への反省はあるか。

Q 結果として多くの寄附をいただき、事業者さんに関してもより多くの受注を得られたと考えており、考える最善の方法を選択でき、特に反省すべき点はないと考えています。

A 「除外」により泉州タオル・水ナスなども返礼品にできなくなった。ふるさと納税の基金を活用して市内業者の支援策を検討せよ。

Q 地場産品の振興については、これまでも施策、応援を行っています。市内業者さんはポテンシャルが非常に高く、そういった部分を伸ばせるような、応援させていただくようなことができないうかが検討していますが、今決まったものがあるわけではありません。

A 小学校につき、中学校でも「35人学級」の推進を、真剣に検討せよ。

学校教育について

今年6月から、泉佐野市はふるさと納税制度から「除外」された。行き過ぎた返礼品競争への反省はあるか。

日本共産党
泉佐野市議員団 代表
高道 一郎 議員



ふるさと納税について

- ・りんごタウン開発のこころ
- ・農業振興のこころ
- ・学校教育のこころ
- ・災害対策のこころ
- ・ふるさと納税のこころ
- ・市有財産の活用

A 仮に令和元年度に市立中学校全校5校で実施すると、7クラスの増となり、少なくとも10名の教職員の配置が必要となります。中学校の場合、教科担任制であるがゆえに、増えたクラスの授業を全ての教科の教職員が担当しなければならず、教職員の授業時間数は増加し、時間外勤務等の縮減に取り組んでいる中、逆行する結果となる可能性があります。

Q 高校入学準備金の「50人枠」では、成績上位者しか当たらない。10万円の現金給付である以上、枠を広げ、就学援助世帯の生徒全員に支給を。

A 就学援助世帯の生徒全員を対象として、その保護者に生徒1人当たり10万円を給付するとなれば、単年度で1,420万円の基金の取り崩しが必要となります。現在の基金総額を勘案すれば、制度としての持続可能性の観点からも、単年度で1,000万円を超える給付は困難であると認識してまいります。



正道の会・泉新の会 代表
辻野 隆成 議員



・雇用・就労について
・子ども・子育てについて
・学校教育について
・下水道について

高齢者雇用の機会創出について

平均年齢のみならず、健康寿命も伸びている。高齢者が働き続けるために就労の機会を創出する仕掛けづくりはできないか。

A 高齢者の福祉施策として、シルバー人材センターへの活動支援を行うとともに、本市の業務のうち、公用車の管理清掃業務や小

中学校管理業務などを同センターに発注しています。大阪府及びハローワークをはじめとした関係機関とも連携し、高齢者の雇用、就労促進に努めてまいります。

学校プールの活用と水泳学習について

Q 各小学校に整備したプールの活用と、水泳授業では緊急時の水泳技能や救助方法を身につけるべきと考えるが、授業内容はどうか。

A 夏休み期間中に小学校プールを一般開放する予定で、期間中に指定管理者の自主事業として小学生対象の水泳教室や受講者の要望に応じたワンポイントレッスンや、

スポーツ推進委員協議会が水難事故から命を守ることを目的とした小中学生着衣水泳体験会を行う予定です。

また、学校プールの自動ろ過機能により、災害時にはプールに張った水を飲用水、生活用水として活用したいと考えています。

下水道整備と下水道使用の普及率について

Q 本年より事業量を倍増し、下水道整備を進めるとの記述があったが詳細をお聞きしたい。

A 長期にわたり累積赤字比率が10%を超えていましたが、今般ようやく累積赤字の解消となりました。しかし、水道事業会計からの10億円の借入れを返済しなければならず、それを踏まえた健全経営の中で年間下水道普及率を約1%と、現在の2倍程度の下水道人口普及率アップを目標として事業を進めてまいります。



自由民主党
泉野野市会議員団 代表
西野 辰也 議員



・国際都市宣言と学校教育について
・高齢者のための交通機関について
・災害後の防災対策について

国際都市宣言と学校教育について

Q 国際都市宣言が行われたが、国際人としての学校教育が遅れているように思う。国際教育や国際人発掘のため、ヤングアメリカンズ開催をどのように考えますか。

A 民間主導の極めてプロフェッショナルなイベント事業との認識を持っておりま。本市では、関西国際空港等を生かした市民の国際化の啓発と多文化共生社会の形成を進め、グローバル化の時代に対応できるまちづくりの推進を国際化の基本方針に定め、国際交流を推進してきたところです。今後、国際化の事業推進に努めてまいります。行政の取り組みだけでなく、ヤングアメリカンズ等、民間主導で行われる事業が実現されるよう期待しながら見守らせていただきます。



また、周辺市町を巻き込んで泉州地域で広域的に実施するというこ

で考えておられるとのことですので、共同での後援名義や実施場所など、行政として協力できるところについて検討してまいりたいと考えています。

高齢者のための交通機関について

Q 高齢者ドライバーの交通事故が多発している。本市でも免許証自主返納を勧めているが、自主返納された方や、体の悪い方のための交通機関が無いのが現状。デマンドタクシーの導入を検討してはどうか。

A デマンドタクシーは、ドア・ツー・ドアで乗車地と目的地を結び、利便性の高さ、また自家用車の代替えとなる交通手段として、高齢者の方にとって大変有意義な施策であると考えられますので、他市の状況を踏まえ、こういった実施方法が泉佐野市に適しているかなど、今後検討してまいります。



・キャッシュレス対応について
・道路交通の安全性向上及び
生活環境の改善について

道路交通の安全性向上について

Q 通学路上の交通事故が多発しているが、本市としてもグリーンベルトの点検や通学路の見直しを行い安全性向上に向けた取り組みを行うべきである。

A 関係機関の連携を図るため、泉佐野市教育委員会、国土交通省大阪国道事務所南大阪維持出張所、大阪府岸和田土木事務所、道路公園課及び泉佐野警察署の間で通学路安全推進会議を設置し、継続的に通学路の安全を確保するため、合同点検を実施するとともに、各種交通安全対策をはじめ、対策後の効果測定もを行い、交通安全対策の改善、充実を図っているところです。

グリーンベルトについても、通学路安全推進会議において、要対策箇所を抽出し、対策を実施しています。今後もし引き続き道路幅員などの現況をはじめ、道路交通法、道路構造令などの法令上の課題も検討しながら進めたいと考えています。



新緑未来 代表
布田 拓也 議員



・ひとを豊かに育むまちづくりについて
・ふるさと応援寄附金の取り組みと今後について
・市町村合併と広域連携について

学校図書 の 充実

Q 市内小中学校の図書室の整備は非常に遅れている。蔵書数の図書標準達成率は泉佐野の小学校平均は71%。しかし全国の66.4%の学校が100%を達成、24.3%の学校が75%以上を達成している。図書教育を充実させないのか。

A 蔵書数については、改善できるように考えていきたいと思えます。今の学校図書館の活用状況は、図書館司書が各中学校区に配置しておりますが、いかに子どもが学力に関係するようなどころで活用できるかが非常に大きな課題です。冊数のみならず、どのようによく活用していくのかという点を市教委も入り、取り組みを進めていくようにしたいと考えています。また、転用可能な空き教室はありますが、学級中の文庫等も含めて、今後検討させていただきます。

全国小学校の図書標準達成率



出典:文部科学省 平成 28 年度「学校図書館の現状に関する調査」結果より

子供の貧困と教育バウチャー

Q 所得格差を教育格差に繋げないことが重要。独自に府内各市の学力と所得の平均を比較したところ、相関関係が見られ、文科省の調査でも所得と学力の関係が報告されている。所得・地域格差を埋めるために教育の充実に早急に取り組むべき。

A 学校の授業時間以外の部分において、児童・生徒に対してさまざまな授業を実施しています。教育委員会としては、学校教育の中で、いかに制度なり、授業を実施しているのか、またそれを充実させていかなければならないという思いがあります。そこから離れたところ、バウチャー制度で教育委員会がクーポン券で補助するようなことは、今のところ考えていません。



チーム泉佐野創生 代表
野口 新一 議員



・南大阪における広域連携と市町村合併の推進に向けて

南大阪における広域連携と市町村合併の推進に向けて

Q 市内における調査をはじめ近隣自治体へのアプローチやさらなる研究モデルの構築に向けた、推進プロジェクトチームの設置について、これからの時代を大局的に見据えたご見解をうかがいます。

A 広域連携に関しては、3市3町の勉強会があり、必要に応じて専門部会を設置するなどの方法により、さらなる広域連携の推進に努めているところです。しかしながら、本市を含む近隣市町の状態は、直ちに合併協議に入るような状況にはありません。今後、機運の高まったときには関係市町と共同で推進プロジェクトチームを設置し、合併を進めるに当たっての多くの課題をクリアし、丁寧な説明により住民理解を得ること、最終的には合併の実現を図りたいと考えています。



野口 新一議員のつぎ

- ・日本のまち 泉佐野を実現する市役所づくりを
- ・官民一体・小中一貫型の国際教育学校の設立を
- ・究極の官民一体型ホテル株式会社IZUMISANOの設立を
- ・大阪・関西万博のサテライト会場の誘致で大阪府との連携推進とさらなる活力を

官民一体・小中一貫型の国際教育学校の設立を

Q 学校法人太田国際学園ぐんま国際アカデミーの授業で英語を学ぶのではなく英語で授業を学ぶ教育を行う「英語イマージョン教育」による国際教育学校設立に向けた意気込みはありますか。

A 教科のほとんどを英語のみで授業する英語イマージョン教育は、日本の英語教育の課題である、生きた英語、使える英語教育という面については、解決方法を持った教育手法だと思えます。一方、課題としては、設立に際し市から多額な支援と広大な土地が必要になること、教員の確保が難しいこと、日本の受験教育と180度方針が異なるため、初等部、中等部、高等部と進級するにつれて、一般校に転校する離脱者が増えることが挙げられます。市としても、さらなる調査研究を行う必要があるものと認識しています。



大阪・関西万博のサテライト会場の誘致で大阪府との連携推進とさらなる活力を

Q 空港連絡道を通じて関空から直結された立地性と自然環境豊かな公園としてのポテンシャルを有する泉佐野丘陵緑地を万博のサテライト機能として、サブ会場の候補予定地に向けた活用についてご見解をうかがいます。

A 大阪府が所有する財産の活用は、大阪府とのさらなる連携推進にもつながることから、本市にとって泉佐野丘陵緑地での大阪・関西万博サテライト会場誘致は非常に有意義であると考えています。今後、その活用も一つの手法という観点でサテライト会場の誘致に向けて積極的に取り組んでまいります。



意見書・決議

2件の意見書を採択し、関係機関へ送付しました。

児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書

全会一致 (送付先)

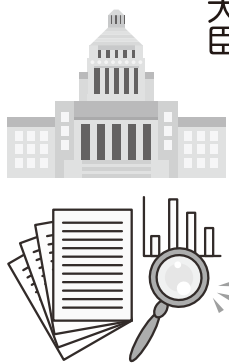
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、厚生労働大臣、文部科学大臣、法務大臣、国家公安委員長



信頼される政府統計をめざしてさらなる統計改革を求める意見書

全会一致 (送付先)

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣



議決権

市政を進める上で重要な案件は、市議会の決定が必要となり、これを議決といいます。

議会が行う議決の主なものは

- ①市の法律とも言うべき条例を定めたり、改正したりすること。
- ②市の予算を決めたり、決算を認定したりすること。

- ③市の税金・使用料・手数料などを決めること。
- ④一定の金額以上の工事や物件等の購入契約を決定すること。

議会は議決権の行使により首長の行政運営を監視する責任があります。

知識豆議会



第3回 みらい泉佐野こども議会 見学者募集



公募で決まった7名の子ども達が本会議場に登壇し、市政に関する質問をします。

議員がコーディネート役を務め、議員または職員が子ども達の質問に答えます。

テーマは「溝のふたがない危険性」や「住みたい街ランキング1位になるには」、「学校への携帯の持参」など7件が予定されています。

子ども達が頑張る姿をぜひ見学にお越し下さい。

■日時 8月25日(日) 午後1時～4時

■場所 泉佐野市議会議場
(受付:泉佐野市役所R階)
※事前の申込は必要ありません。

9月議員研修会

泉佐野市議会では、以下のとおり議員研修会を開催します。

傍聴席からの見学も大歓迎ですので、ご希望の方は当日直接R階の受付までお越しください。

■日時 9月3日(火) 午後1時～

■場所 泉佐野市議会議場
(受付:泉佐野市役所R階)

■講師 漫画・ドラマ「コウノドリ」のモデル
地方独立行政法人りんくう総合
医療センター

産婦人科部長 荻田 和秀 氏
■テーマ 奇蹟のすぐそばにということ
～南大阪の周産期医療と産後
ケア、現状とこれから～(予定)



コウノドリ。講談社 鈴木木ユウ

市議会を傍聴しませんか

市民ロビーでも視聴ができるようになりました

◆9月定例会の日程表◆

- 9月 3日(火) 本会議(議案説明)
- 9月 4日(水) 総務産業委員会
- 9月 6日(金) 厚生文教委員会
- 9月11日(水) 決算特別委員会
- 9月12日(木) 決算特別委員会
- 9月13日(金) 決算特別委員会
- 9月18日(水) 関空りんくうまちづくり特別委員会
- 9月19日(木) 行財政委員会
- 9月20日(金) りんくう総合医療センター対策委員会
- 9月24日(火) 本会議(一般質問)
- 9月25日(水) 本会議(一般質問)
- 9月26日(木) 本会議(一般質問)

※午前10時開会予定です。なお、日程は変更することがあります。

※手話通訳をご希望される方は、議会事務局までお問い合わせ下さい。

表紙の写真



ハノイ大学日本語・日本文化コラボレーションセンターのアドバイザー 菅沼 蔵人氏を迎え、「先進的な外国人人材の受入について～国際都市 泉佐野市の底知れない魅力～」をテーマにご講演いただきました。

市議会だより編集委員

中藤 大助
辻野 隆成
福岡 光秋
向江 英雄
土原 こそえ
新田 輝彦
副委員長
高橋 圭子
委員長